特集　分析科学のSDGs

《特集》「分析科学のSDGs」企画にあたって

分析化学の研究が目指すのは，測れないものを測れるように，それも“より正確に”，“より少ないものも（低濃度もしくはワイドダイナミックレンジ）”，“どんな状態で（スペシエーション）”，さらには“より早く（ハイスループット）”です．それを実現すべく様々な計測手法や解析手法が確立され使われてきています．もはや化学に留まることなく様々な学際領域も含み，“分析科学”と言っても差し支えないどころか，むしろ科学の方がしっくりきます．本会の英文誌も「Analytical Sciences」です．

また，昨今，化学また科学においてもSDGs（Sustainable Development Goals）を意識せざるを得ないと感じます．17の目標全てが直接関連するものではありませんが，「産業と技術革新の基盤を作ろう」「つくる責任 つかう責任」「パートナーシップで目標を達成しよう」は分析化学に大きく関わりますし，学会としての取り組みで「ジェンダー平等を実現しよう」も重要なゴールとなります．本特集は，分析科学におけるSDGsを紹介するものとし，省力化，ハイスループット化（短時間化），使用する試薬や廃棄物の低減化への取り組みの解説をお願いしました．また，研究開発に関わるもののみでなく，学会や団体としての取り組みもご紹介するものとさせていただきました．

「ぶんせき」編集委員会

特集　分析科学のSDGs

|  |  |
| --- | --- |
| 女性研究者ネットワーク | 金澤 秀子（慶應大・薬） |
| 海洋生分解性素材 | 磯部 紀之 |
| ~~ポリスチレン微粒子吸着蛍光染料~~ | ~~青木 寛（産総研）~~→ 辞退 |
| 環境分析・水道分析 | 古川 浩司（三重県環境保全事業団） |
| SDGsに対する取り組み | 青山 千顕（GLサイエンス） |
| 未定 | 小倉(宮)　亜紗美（呉高専） |
| 簡易水質分析 | 佐藤 久（北大・工） |
| 大気汚染物質・微量成分の計測 | 定永 靖宗（大阪公立大学・工） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |